

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【公開番号】特開2013-230157(P2013-230157A)

【公開日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-062

【出願番号】特願2013-139604(P2013-139604)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/52 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/52

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 43/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月9日 (2013.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体におけるIgA腎症の処置のための医薬組成物の製造における、Haemophilus influenzae IgA1プロテアーゼの使用。

【請求項 2】

前記IgA1プロテアーゼはタグに融合されたものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記タグは、c-Myc、HA、VSV-G、HSV、FLAG、V5、およびHISからなる群より選択される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記タグは、6つのヒスチジンを含む、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記IgA1プロテアーゼは、IgA1のヒンジ領域で切断する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記医薬組成物は、静脈内投与用剤型であることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記医薬組成物は、さらに、等張性ベヒクルを含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記医薬組成物は、単位投与剤型である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 9】

前記単位投与剤型は、前記被験体の体重 1 k g あたり 5 0 ~ 1 0 0 μ g の前記IgAプロテアーゼを含む、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

前記医薬組成物は、腹腔内注射用剤型であることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 11】

Haemophilus influenzae IgA1プロテアーゼを含む、被験体におけるIgA腎症の処置のための組成物。

【請求項 12】

前記IgA1プロテアーゼはタグに融合されたものである、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記タグは、c-Myc、HA、VSV-G、HSV、FLAG、V5、およびHISからなる群より選択される、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記タグは、6つのヒスチジンを含む、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記IgA1プロテアーゼは、IgA1のヒンジ領域で切断する、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記医薬組成物は、静脈内投与用剤型であることを特徴とする、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記医薬組成物は、さらに、等張性ベヒクルを含む、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記医薬組成物は、単位投与剤型である、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記単位投与剤型は、前記被験体の体重 1 k g あたり 5 0 ~ 1 0 0 μ g の前記IgAプロテアーゼを含む、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記医薬組成物は、腹腔内注射用剤型であることを特徴とする、請求項 11 に記載の組成物。